| <u>令和3年</u>                               | 度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票        |   |   |  |   |   | /m -tm  |  | 20-009  |
|---|-------------------------------|---|---|--|---|---|---|--|---|
| PDCA                                      | 事務事業名                         | 児童発達支援センター<br>し学園地域支援事業   | 一つく   | 部課等名   | 健康子ど<br>保育担当  | も部 幼児   |   | <u>担当</u><br>内線等   | 中川<br>21-6049                                       |
| P<br>総                                    |                               | 章: 第2章 子  |   | いい といば といまり こうしん こうしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん  | で支え合う   | iまち   |   | 1 3420 13  |   |
|   |                               |   | 育て・1<br>育・保育  | 子育ち支援の∃<br><del>▼</del>  | 推進  |   |   |  |   |
|   |                               | 単位施策: (1) 幼児  | <u>月 床 5</u><br>教育 6  | <u>-</u><br>R育の充実  |   |   |   |  |   |
|   |                               | 個別施策: 6特別な支   | 援の必要  | をな子どもへの  | の教育、係   | <b>R</b> 育  |   |  |   |
| 合<br>計<br>画                               | 根拠法令等                         | 児童福祉法   |   |  |   |   |   |  |   |
| <b>画との関係性等</b>                            | 対象・目的                         | 身近な地域における障がい児支援の中核的な施設である「児童発達支援センターつくし学園」において、通所支援事業に加え、相談支援や保育所等への訪問支援、巡回療育支援などの「地域支援事業」を実施し、地域における発達の遅れや偏り、障がいのある子どもやその家族の支援を実施する。   |   |  |   |   |   |  |   |
|   | 目的を達成<br>するための<br>手段・活動<br>内容 | 実施する。   |   |  |   |   |   | 計 1名等  | を配置   |
| _   | 活動結果                          | 活動実績  | 7 1n = 1/1/1  | SteL   |   | H30年度   | R1年度  | R2年度   | 単位  |
| D<br>前<br>年                               |                               | ①相談支援事業による<br>②保育所等訪問支援   | る相談件<br>事業に ₽   | ·数<br>ス計問供数  |   | 988<br>171  | 1, 206<br>105   | 1, 163<br>104  |   |
|   |                               | ③巡回療育支援事業[  |   |  |   | 226   | 298   |  |   |
|   |                               |   |   |  | 事業費   | 6, 309  |   | 823  | 千円  |
| 度   |                               |   |   |  | 人件費<br>総事業費   | 24, 448<br>30, 757  | 25, 619<br>32, 582  | 26, 462<br>27, 285   |   |
| の   |                               | 活動単位当たりのコ   | スト  |  | 秘尹未其  | H30年度   | R1年度  | R2年度   | 単位  |
| の活動結果と見ら                                  |                               | ①相談支援事業の16  | 件当たり  |  |   | 12, 410   | 10, 301   | 8, 421   | 円   |
| 結   |                               | ②保育所等訪問支援。 ③巡回療育支援事業  | 事業の 1   | 件当たりの=   | コスト   | 88, 574   |   |  |   |
| 果   |                               | る。<br>成果指標  | ルー件ヨ  | <u>にりのコスト</u>  |   | 14,826<br>H30年度   | 16, 364<br>R1年度   | 11,092<br>R2年度   | <del> 门</del><br>  単位                               |
| <u>ځ</u>                                  | 成果                            | ①相談支援事業による  | る支援人  | .数   | 実績値   | 988   | 1, 206  | 1, 163   |   |
| 見<br>:                                    |                               |   |   |  | 目標値   | 1, 000  | 1, 000  | 1, 000   | 人   |
| りれ  |                               |   | 事業によ  | る支援人数  | 実績値   | 154   | 105   |  |   |
| た   |                               |   |   |  | 目標値   | 170   | 185   | 185  | 人   |
| 成   |                               |   | ·援人数  | 実績値  | 226   | 298   |   |  |   |
| 果   |                               |   |   | 1201   | 目標値   | 190   | 190   |  | 人   |
|   |                               |   |   |  | <u>口惊</u>   <br>有効性   | 190   | 190   | 効率性  |   |
| С   |                               | 小曲水   |   |  | 1月 2011生  |   |   |  |   |
|   |                               | 必要性   | -5 V/   |  |   | 1   | <b>3</b> 1 1  |  | 4   |
| _   | 観点別評価                         | ①市の関与の妥当性   |   | ④上位施策へ   | の貢献   |   | ⑦コスト門   | 削減余地   | ない<br><sub>毛段の変更</sub>                              |
| 課   | 観点別評価                         |   | 高い  |  | の貢献<br>余地   | ある  |   | 削減余地<br><mark>※対象・=</mark>   |   |
| 課題  | 観点別評価                         | ①市の関与の妥当性 ②市民ニーズ  | 高い  | 4<br>4<br>4<br>4<br>4<br>4<br>4<br>4<br>4<br>4<br>5<br>6<br>6<br>7<br>8<br>8<br>8<br>8<br>8<br>8<br>8<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9 | の貢献<br>余地   | ある  |   | 削減余地<br><mark>※対象・=</mark>   | 手段の変更   |
| 課   | 事業の                           | ①市の関与の妥当性<br>②市民ニーズ<br>③休廃止の影響<br>B<br>相談支援事業では、支援事業でのの難ががが難しいるのが異しいるがが、巡増をがが、巡りを接援事を持た。必要が、、の訪問を開始を対した。必ずには、ののいました。必ずには、ののいました。必ずには、のいました。必ずには、のいました。といるのは、ののは、ののは、ののは、ののは、ののは、ののは、ののは、ののは、ののは、  | 大中をし問ので特別では、大学提て支事は、大学提のでは、大学に対象をできます。                      | ④上位施兵<br>⑤成類<br>⑥類<br>「の」<br>⑥類<br>「の」<br>「の」<br>「の」<br>「の」<br>「の」<br>「の」<br>「の」<br>「の」  | の余有 園た習支に理せて一え増問育   | ある<br>ない<br>シャラで関に数等<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・ | ®受益者負担<br>目談、支の連手を<br>をでして<br>をでいるでは、<br>をでいるに<br>をでいるに<br>をでいる。<br>をでいる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>をできる。<br>とできる。<br>とできる。<br>とできる。<br>とできる。<br>とでも、<br>とでも、<br>とでも、<br>とでも、<br>とでも、<br>とでも、<br>とでも、<br>とでも、 | 川減余地 ※対象・ ※対象・ ※対象・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・  | 手段の変更<br>な<br>連携るいがをこくでか<br>ことがきっ                   |
| 課題の整理 人 課題解決                              | 事業の<br>評価・課題                  | ①市の関与の妥当性 ② (②) (②) (②) (②) (②) (③) (②) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (④) (④) (④) (④) (④) (④) (④) (④) (④) (④  | 大中をし問のでと発業当るの職高き一学提て支事はに達務たこ適種が供お援業、よ支等りと用にい、すり事を理り援に、にがよ   | <ul><li>④⑤⑥</li><li>保る、業兼学、 セー高よ可る<br/>位果似 園と門はす法育 タ期専資と一<br/>施向事 、が知、る士支 一間門質なム<br/>一間門質なムのの 稚きの問と心を し事を向よよ</li></ul>   | の余有 園た習支に理強 てし有上うり 耐地 、。得援よ士化 必たすを訪保 健の加の訪保る と験人っ支園 と験人っ支園 さを材て援、 | あない 大八員人士と れ持のいのこ かない 大川機り増チュナ でいるつ確く充ど ない まな保必実も まどが要を 国 ・   | ® おりとのによったであるが図へ着 接の連い応よ い項あって巡りをであるで巡ります。 おいぼあって巡ります。 一般 大き 大き 大き 大き 大き はい   | 川<br>減<br>会<br>対<br>立<br>決<br>強<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大 | 手段の変更連りてときこ、材や浸ま連りのと必きの園いめいのと必きの園いめい                |
| 課題の整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 事業の<br>評価・課題<br>今後の事業         | ①市の関与のズ<br>②休廃止の影響<br>B 構りが要がが。の<br>でへス育援支すはのが悪がが。の<br>でへス育援支すはのが一般ででで、支増等がが。の<br>を推進は務や継受生は、のが一般でででで、ので、のででででででででででできる。<br>でへス育援支すでで、ス育援支すででででででででできる。<br>でで、ス育援支ができるできる。<br>でで、ス育援支ができるできる。<br>でで、ス育援支ができるできる。<br>でで、ス育援支ができるできる。<br>でで、ス育援支ができるできる。<br>でで、ス育援支ができるできる。<br>でで、ス育援支ができるできる。<br>でで、ス育援支ができる。<br>でで、ス育援支ができる。<br>でで、ス育援支ができる。<br>は、務や継受生は、<br>のるのののののののののでは、回り、<br>は、ののでは、<br>には、ののでは、<br>には、<br>には、<br>には、<br>には、<br>には、<br>には、<br>には、<br>には、<br>には、<br>に | 大中をし問のでと発業当るの職高き一学提て支事はに達務たこ適種が供お援業、よ支等りと用にい、すり事を理り援に、にがよ   | <ul><li>④⑤⑥</li><li>保る、業兼学、 セー高よ可る<br/>位果似 園と門はす法育 タ期専資と一<br/>施向事 、が知、る士支 一間門質なム<br/>一間門質なムのの 稚きの問と心を し事を向よよ</li></ul>   | の余有 園た習支に理強 てし有上うり 耐地 、。得援よ士化 必たすを訪保 健の加の訪保る と験人っ支園 と験人っ支園 さを材て援、 | あない 大八員人士と れ持のいのこ かない 大川機り増チュナ でいるつ確く充ど ない まな保必実も まどが要を 国 ・   | ® おりとのによったであるが図へ着 接の連い応よ い項あって巡りをであるで巡ります。 おいぼあって巡ります。 一般 大き 大き 大き 大き 大き はい   | 川<br>減<br>会<br>対<br>立<br>決<br>強<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大<br>大 | 手段の変更連りてときこ、材や浸ま連りのと必きの園いめいのと必きの園いめい                |
| 課題の整理 🗡 🗚 課題解決のため                         | 事業の<br>評価・課題<br>今後の事業<br>の方向性 | ①市の関与の妥当性 ② (②) (②) (②) (②) (②) (③) (②) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (④) (④) (④) (④) (④) (④) (④) (④) (④) (④  | 大 中をし問のでと 発業当るの職事<br>高き 校供お援業、よ 支等りと用に所い 、すり事を理り 援に、にがよ等    | <ul><li>④⑤⑥ 保る、業兼学、 セー高よ可るへ</li></ul>  | の余有 園た習支に理強 てし有上うり 耐地 、。得援よ士化 必たすを訪保 健の加の訪保る と験人っ支園 と験人っ支園 さを材て援、 | あない 大八員人士と れ持のいのこ かない 大川機り増チュナ でいるつ確く充ど ない まな保必実も まどが要を 国 ・   | ® おりとのによったであるが図へ着 接の連い応よ い項あって巡りをであるで巡ります。 おいぼあって巡ります。 一般 大き 大き 大き 大き 大き はい   | 川 <mark>淡</mark> 適 ン決強援る、 談を、育必援<br><mark>減対</mark> 化 一結を行と育 援す談等が実<br>地・地 とつっこで、 は人援問るす         | 手段の変更連りてときこ、材で表表連切様名いがなど障が障援まと単のであるが求がでたと位してときこいめいも |
| 課題の整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 事業の<br>評価・課題<br>今後の事業         | ①市の関与のズ 3 (本)   | 大 中をし問のでと 発業当るの職事 支高き 校供お援業、よ 支等りと用に所 人いい 、すり事を理り 援に、にがよ等 数 | <ul><li>④⑤⑥ 保る、業兼学、 セー高よ可るへ</li></ul>  | の余有 園た習支に理強 てし有上うり 耐地 、。得援よ士化 必たすを訪保 健の加の訪保る と験人っ支園 と験人っ支園 さを材て援、 | あない 大八員人士と れ持のいのこ かない 大川機り増チュナ でいるつ確く充ど ない まな保必実も まどが要を 国 ・   | ® おりとのによったであるが図へ着 接の連い応よ い項あって巡りをであるで巡ります。 おいぼあって巡ります。 一般 大き 大き 大き 大き 大き はい   |  | 手段の変更連りてときこ、材で表表連切様名いがなど障が障援まと単のであるが求がでたと位してときこいめいも |